

レジメンcode:	C35-51
適応がん種:	非小細胞肺癌
レジメン名:	Ramucirumab+Erlotinib
間隔:	2週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
RAM	サイラムザ	10	mg/kg	点滴[*1]	d1
	タルセバ	[*2]150	mg/body	内服(1日1回)[*3]	d1~14

[*2]患者の状態を考慮してタルセバ100mg/bodyでの開始用量も可

day1

- | | | | |
|----------|-------|-------------------|--------------|
| 1) ポラミン | 5mg | 1 A | |
| 生食 | 50ml | 1 本 | |
| | 主管① | 点滴 | 15 分 |
| 2) サイラムザ | | 10 mg/kg | インラインフィルター必須 |
| 生食 | 250ml | 全量250mLになるように生食調製 | |
| | 主管② | 点滴 | 初回60分 |
| | | | 2回目以降30分[*1] |
| 3) 生食 | 50ml | 1 本 | |
| | | | フラッシュ |

〈所要時間 約1時間〉

〈初回 約1時間30分〉

day1~14

- | | |
|---------|-----------------|
| 1) タルセバ | [*2]150 mg/body |
| | 内服 1日1回[*3] |

[*3]食事の1時間以上前又は食後2時間以降に内服

*適応:EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

第 I b/III 相無作為化比較試験(RELAY試験PartB)(exon19の欠損変異又はexon21のL858変異対象)

【サイラムザ】

*蛋白尿があらわれることがあるので、本剤投与中は蛋白尿を定期的に検査すること(減量基準あり)

*infusion reactionがあらわれることあり

・grade3、4 → 本剤の投与を直ちに中止し、再投与しないこと

・grade1、2 → 投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与すること

*インラインフィルター使用必須